

# 都市と交通

ごまたんたん

C123034 遠藤愛優

C123206 伊藤美南

C124081 佐々木陽色

C124182 稲泉有佳

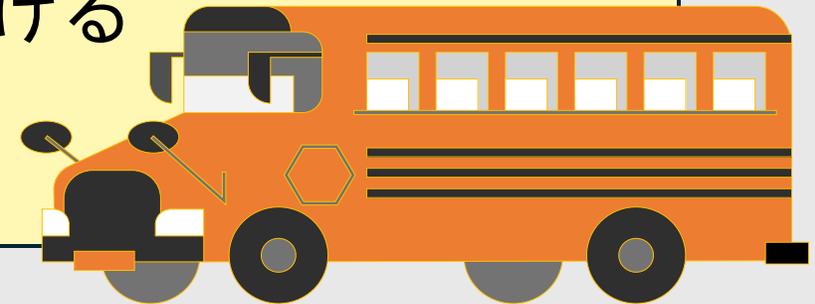


# 問題

現状：ドライバーの運転マナーが悪いため事故が多発している

マナー違反→スピード違反、信号無視、方向指示器おそい、  
急な車線変更、無理な追い越し、ながら運転、  
ごみのポイ捨て、一時不停止、ハイビーム、あおり運転、  
割り込み、歩行者妨害 など

理想：全てのドライバーが安全な運転を心がける



# 原因の洗い出し・問題点の整理

ドライバーの  
安全運転意識  
の低下

慣れ

危険運転を誘  
発しやすい交  
通環境

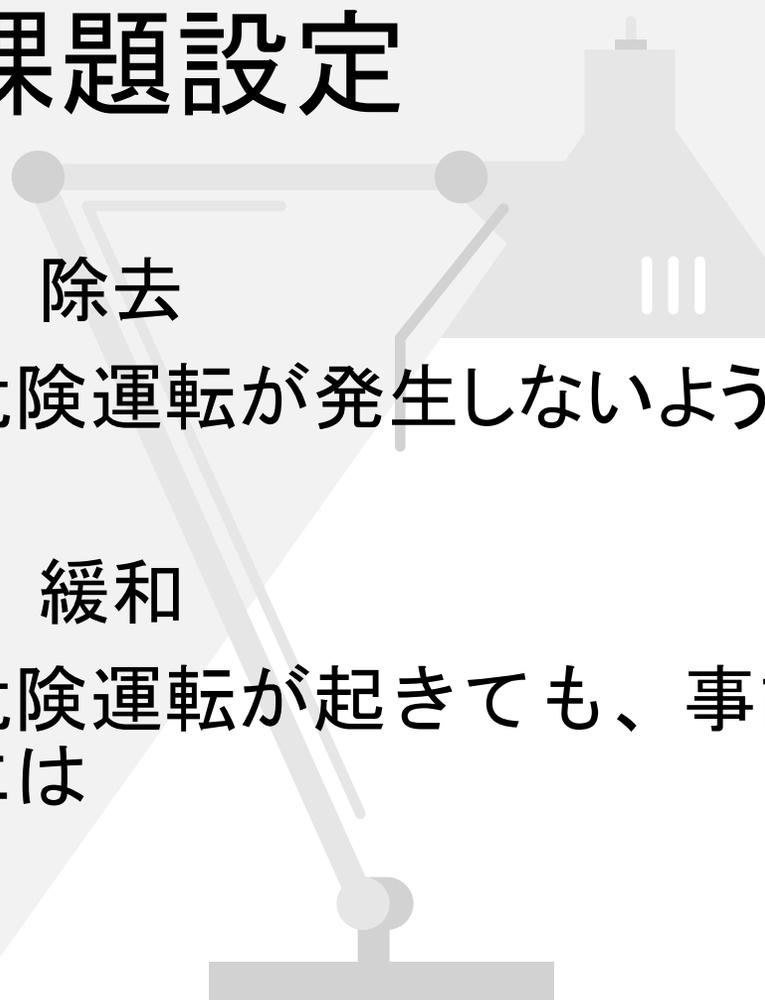
違反しても大  
きな不利益を  
感じにくい

時間的・心理  
的余裕のなさ



問題点：危険運転が日常的にみられる

# 課題設定



## A 除去

危険運転が発生しないよう、ルール違反を確実に抑止・排除するには

## B 緩和

危険運転が起きても、事故や被害につながりにくい環境を整えるには

# 解決案の提案



## A除去

- 速度違反・信号無視が多い地点へのカメラの設置
- 違反点数・反則金の見直し
- 危険運転への重点的取り締まり

⇒「見られている」意識が抑止力になり、違反を排除できる

## B緩和

- 歩車分離信号の導入
- ガードレール・防護柵の設置
- 自転車専用レーンの整備

⇒危険運転が起きても、事故そのものを回避しやすい

# 期待される効果

## A除去による期待される効果

- 危険運転・ルール違反の発生件数の減少
  - ドライバーの意識定着
  - 危険運転の常態化の防止
  - 交通ルール遵守率の向上
- 👉 危険運転そのものが発生しにくい交通環境の実現

## B緩和による期待される効果

- 歩行者・自転車の被害軽減
  - 二次事故の被害拡大の防止
  - 事故発生の重症化・死亡リスクの低下
- 👉 事故が起きても命が守られる交通環境の実現